



<http://gochamazetamago>.

main.jp/



もうすぐ来る春が待ち遠しいこの頃。今回は、スクランブルエッグの2013年度後半の活動を振り返ります。今年度も応援ありがとうございました。来年度もまたよろしくお願いたします☆

秋田で自殺対策シンポジウム

「子ども達に残したい未来を想う ーセクシュアリティとジェンダー、 大切なわたしとあなた、みんなと共に生きるー」

2013年11月23日、秋田を拠点に全国的に活動をしている「性と人権ネットワーク ESTO」さんの主催で、セクシュアリティとジェ



シンポジウムの記事 (秋田)

ンダーの視点からの自殺対策を考えるシンポジウムがありました。スクランブルエッグのメンバーもパネリストとして参加し、地方で暮らすセクシュアルマイノリティの生きづらさや、希望が持てるようになるために必要なことなどをお話・提案させていただきました。

過去に行われたセクマイを対象にしたアンケートでは、自殺を考えたことがある人は実に6割を超えています。※セクマイの場合、自己肯定感が低いということがよく言われます。学校、家庭、会社・異性愛や、男らしさ・女らしさが前提の社会で、自分を肯定する機会が得づらいのが現状です。

シンポジウムには、マイノリティなどの立場から人権問題について取り組まれている辛淑玉さんの講演の他、秋田にて若者の語り場を主催している草野剛さんと、子育て支援をされている後藤節子さんもパネリストとして参加。草野さんは、自分らしさとは違うものを強要される生きづらさについて触れていました。

※ゲイ・バイセクシュアル男性を対象としたインターネット調査 (REACHOnline) では約65%という結果だった。また岡山大学病院ジェンダークリニックを受診した性同一性障害の人を対象としたデータでは、60%弱。

青森市・アピオあおもりでの講座

「働く性的少数者たち ～職場の中でもマイノリティ?～」

2013年11月10日、アピオあおもり秋まつりにてセクマイと仕事をテーマに当サークルが講座を開催しました。熱心にメモを取る方、共感される方やご自身の体験をお話くださる方もいて、大変盛り上がり、30分延長してのディスカッションとなりました(*^^*)

異性愛者の男女を前提とした慣習や、異性愛者であることを前提とした会話、男性/女性独特の人付き合いの仕方や職場での立場など…普段は目に見えない、様々な性にまつわるプレッシャーが浮き彫りになりました。

今回スピーカーとしてお話した二人の場合は、「いかに異性愛者の典型的な男性/女性を演じるか」を無意識のうちに常に気にして暮らしてきたこともわかり、異性愛前提の社会での働きづらさ・生きづらさが浮き彫りになったように思いました。

会社の制度も、また同僚との人間関係も、違いを認め合うことで誰もが働きやすい職場が作られていくのではないのでしょうか。



☆☆☆ メルマガ登録受付中!! ☆☆☆

スクランブルエッグでは、不定期にメールマガジンを発行しています。登録は無料です(^-^)

「無理せず楽しく、自分達の生活を大事にしなが、できることをしてみよう!」というのがモットーの当たまご。イベント自体は年に2~3回程度ですが、開催のお知らせのメール等を配信させていただいております。

登録ご希望の方は、件名に「メルマガ希望」と入れて、gochamazetamago@yahoo.co.jp までご連絡ください!

盛岡で、災害とセクマイ支援考える会議

「セクシュアルマイノリティ支援第2回全国会議」

2013年10月26日に盛岡市にて、「セクマイ支援第2回全国会議実行委員会」と「NPO 法人共生社会をつくるセクシュアルマイノリティ支援全国ネットワーク」さんの共催という形で、災害とセクマイ支援を考える全国会議が開かれ、スクランブルエッグのメンバーもパネリストとして参加しました。

岩手レインボーネットワークさん、東北 HIV コミュニケーションズさんからも発表があり、地域の中では多くのセクマイは自分のセクシュアリティを隠して暮らしていること（そうしなければ暮らせないこと）、セクマイ同士でも容易には繋がりが合えないことや、東日本大震災の際に起きたトラブルなどについて触れられていました。

周囲にセクマイであることがばれて避難所を出ざるを得なくなった人がいるという被害もあったようです。

緊急時は、まず命を守るために、ホルモン剤や抗 HIV 薬な

ど、医療を必要としているセクマイがそれを伝えやすい環境が必要でしょう。周囲に関係を隠しているパートナーがいる場合などは、安否確認ができないことでパニックになることもあるかもしれません。

また避難が長引いてくると、プライバシーが守られない環境の中で「セクマイであることを常に隠す」という強いストレスが蓄積されていくため、メンタル面のサポートがより必要になるのではないかと思います。

普段から各種のグループが協力体制を築くことで、いざという時に連携がとれるかもしれません。また、セクマイ同士の繋がりも大切だと感じました。

信頼できる繋がりがあることは、災害などの緊急時には大きな心の支えになるのではないのでしょうか。



東北の各団体が発表

☆募集予告☆ あなたも“多様な性に Yes!” のメッセージを発信しませんか？

5/17は IDAHO（国際反ホモフォビア・反トランスフォビアの日）です。そこで、毎年4月末～5月上旬頃に「やっぱ愛ダホ！ idaho-net」が、多様な性を肯定するメッセージを募集します。集まったメッセージは各地の街頭アクションで読み上げられたり、展示されたりします。

募集開始の際は、みなさんも是非一言メッセージをお寄せください！青森や東北地方から寄せられたメッセージは、スクランブルエッグが青森市で開催する IDAHO メッセージ展でも、特にピックアップして展示していきますので、お楽しみに！



2013年度の IDAHO メッセージ展

○やっぱ愛ダホ！ idaho-net <http://yappaidaho.blog.shinobi.jp/>

【東北各地でイベントを開催している団体】

○青森国際ナショナルLGBTフィルムフェスティバル

<http://www.aomori-lgbtff.org/>

○性と人権ネットワーク ESTO

<http://akita.cool.ne.jp/esto/>

○岩手レインボー・ネットワーク

<http://ameblo.jp/iwaterainbownetwork/>

○♀×♀お茶っこ飲み会・仙台

<http://blog.goo.ne.jp/ochakkonomi>

○A n e g o <http://blog.canpan.info/anego/>

○やろっこ <http://sendai865.web.fc2.com/>

【にじたまの主な設置場所】

青森県立図書館／青森市民図書館／青森県男女共同参画センター「アピオあおもり」／青森市男女共同参画プラザ「カダール」／弘前市立図書館／弘前市民参画センター／弘前大学／藤崎町ふれあいずーむ館／平川市文化センター／スポカルイン黒石／五所川原市立図書館／八戸市立図書館／八戸市図書館情報センター／八戸市民活動サポートセンター「ふれあいセンターわいぐ」／十和田市民図書館／三沢市公会堂／むつ市立図書館／FMアップルウェーブ